

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	城陽市立今池保育園	施設種別	保育園 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成30年12月19日

総 評	<p>「今池保育園」は、平成25年8月に2つの公立保育所が合併し、公設民営の保育園として設立されました。城陽市の南部に位置しており、園の周辺には田んぼや農地も多く、のどかな環境にあります。「笑顔あふれる保育園」を保育理念とし、子どもたちが「自分は愛されている」「何かあれば助けてもらえる」という基本的信頼感や自己肯定感を育てることを基本に、小学校への接続に向けて非認知能力を育てることも大切にされています。0～2歳児クラスにおいては育児担当制保育を取り入れ、子どもの生活の安定を保障するよう取り組まれています。3～5歳児クラスでは週1回専門の指導員による体育指導を取り入れ、心と体のトータルな成長を目指されています。</p> <p>保育室には子どもがすぐに遊びが始められるように玩具が配置され、遊びの継続性に配慮した環境が整えられています。また、食事の時間が和やかにすごせるよう、陶器の食器の使用や、テーブルに花を生けるなど雰囲気作りがされています。</p> <p>施設長は、職員を積極的に外部研修に参加させたり、園に助産師を招き職員に対して命の大切さを伝える研修を実施するなど園内研修にも取り組まれており、保育の質の向上にリーダーシップを発揮されています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員のシフトへの負担を減らすために早朝・延長育児担当の非常勤職員を配置したり、昼休憩のための非常勤職員を配置するなど、働きやすい職場環境の整備に熱心に取り組まれています。 ● 施設経営の透明性を高めるために、公認会計士による外部監査を受けられており、経営改善にも取り組まれています。 ● 子どもの遊びが継続されるよう、子どもたちが手に取りやすい位置に玩具を配置し全ての保育室で、年齢にあった工夫がなされています。また、職員全員が参加する研修を設け共通認識をもって保育にあたっています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育実習について、現在は施設長が個別に対応されていますが、今後は実習マニュアルを作成した上で、組織的・計画的に取り組まれるとなお良いでしょう。 ● 不審者侵入時の対応マニュアルや個人情報保護規程など、マニュアルや規程の整備をされると良いでしょう。 ● 保育における年間計画が文書化されていませんでした。月案・週案はたてられていましたが、子ども一人一人に対する保育内容が全体的な計画や年間計画につながっているか、俯瞰的に見られるようにされるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	城陽市立今池保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成30年12月19日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	頁番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	b
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	c
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	c
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	c	c
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c	c
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c	b

[自由記述欄]

・保育理念や保育方針については、職員との話し合いによって策定されています。また、玄関ホールにも掲示されているなど、保護者への周知が図られています。

・「人材不足」の解消を喫緊の経営課題とし、就職フェアに出展するなど取り組まれています。

・中・長期計画や単年度の事業計画が作成されていません。計画的な施設運営のために中・長期計画や事業計画の作成が求められます。

・保育の質の向上において、保育計画の中に評価・反省の記述がされており、PDCAのサイクルに基づく保育の質の向上に取り組まれています。

・第三者評価を積極的に受診するなど保育の質の向上に対して熱心に取り組まれています。今後は、評価結果の分析や検討、職員間での課題の共有、そして保育所全体の自己評価の定期的な実施が求められます。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	b
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	b
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	c	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	c
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c	c
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	c	b
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c	c	
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	b
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	b
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b

[自由記述欄]

・施設長の役割と責任は、職員室に置かれている業務マニュアルの中に記載されています。園だよりでも、毎月園長が保護者に向けてのメッセージを発信されています。

・施設長は、保育の質の向上のために職員を積極的に外部研修に参加させたり、園に助産師を招き職員に対して命の大切さを伝える研修を実施するなど、園内研修にも取り組まれています。

・施設長は、職員のシフトへの負担を減らすために早朝・延長育児担当の非常勤職員を配置したり、昼休憩のための非常勤職員を配置するなど、働きやすい職場環境の整備に熱心に取り組まれています。今後は、組織内に同様の意識を作るための具体的な体制作りや取り組みを実施されるとな良いでしょう。

・働き方改革への取り組みや様々な事情により、非常勤職員が多くなっている現状から、常勤職員を増やしたいという人材確保に関する方針が確立しています。

・年に1回、施設長が職員面談を行っています。今後は、人事基準（キャリアパス）を定め、職員処遇の水準についても評価・分析を行うとともに職員一人ひとりの目標管理の仕組みが構築されるとな良いでしょう。

・外部研修に積極的に職員を参加させるなど、職員一人ひとりの研修の機会が十分確保されています。また、新人に対して指導担当をつけるなど、OJTが適切に行われています。

・実習生の研修については施設長が対応されていますが、今後は、実習マニュアルを作成されるとな良いでしょう。

・施設経営の透明性を高めるために、公認会計士による外部監査を受けられており、経営改善にも取り組まれています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	b	
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	b	
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	b	
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a	
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b	
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	b	
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	b	
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	b	
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	c	b	
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	b	
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	b	
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	c	c	
	Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	a
			41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	a
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	b	
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	b	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	b	
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	b	

[自由記述欄]

- ・ 0～2歳児クラスにおいては育児担当制をとりいれ、子どもの生活の安定を保障しています。
- ・ 担任と副担任が連携を取りながら保育をすすめています。
- ・ 入園の希望者の見学を随時受け入れ、自園の保育について丁寧に説明をしています。また、入園のしおりを毎年見直し作りかえるなど、保育の開始にあたり、保護者への情報提供を積極的に行い、安心して保育園生活が送れるように配慮しています。
- ・ 感染症予防の観点から、園内全てでペーパータオルを使用したり、毎日、保育室や玩具の殺菌消毒を行っています。
- ・ 災害時には、保育園が公的な避難所になることから、今後は、避難所として施設を開放する場合の保育について検討することが必要でしょう。また、今後は、不審者侵入時の対応マニュアルや個人情報保護規程などマニュアルや規程の整備を行うと良いでしょう。
- ・ 事故防止委員会を設置し、職員に対して安全確保・事故防止の研修を実施されています。
- ・ 保育における年間指導計画が文書化されていませんでした。月案・週案はたてられていましたが、子ども一人一人に対する保育内容が全体的な計画や年間指導計画につながっているか、俯瞰的に見られるようにされるとな良いでしょう。
- ・ 今後は、指導計画の策定責任者を設置し、長期・短期の指導計画を策定されることが求められます。
- ・ 子どもに関する保育の実施の状況を非常勤職員を含めた全職員が情報共有ができる仕組みを整備されるとな良いでしょう。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
A-1 保育内容	A-1-(1) 保育課程の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a	b	
		A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
			48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
			49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
			50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	b
			51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b
			52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b
			53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b
			54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b
			55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b
	56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	b		
	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	b	
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	b	
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	b	
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a	
61		② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	b		

[自由記述欄]

- ・今年度全体的な計画の見直しを実施されています。今後、多くの職員がかかわり定期的に見直しが行なわれることが期待されます。
- ・子どもがすぐに遊びが始めるように玩具が配置され、遊びの継続性に配慮した環境が整えられています。個人懇談等で家庭での状況を把握し無理なく生活習慣が身につくよう働きかけています。
- ・園庭・園外散歩など戸外での遊びや、自然との触れ合う時間を積極的に設け、子どもたちが園外で摘んできた草花を部屋に飾るなどさりげない心遣いを育んでいます。いろいろな材料を組み合わせ制作をしたり、絵を描いたりする環境については工夫できるとなお良いでしょう。
- ・全園児に対して個人懇談を年1回実施されていますが、懇談内容についての記録を職員間で共有できるよう基準を設けるとなお良いでしょう。
- ・アレルギー疾患のある子どもへの対応のために全職員がエビペン講習を受講するなど子どもの健康に関して積極的に学ぶ機会を設けています。一方で、緊急事態への対応が迅速に行えるよう、健康管理に関するマニュアル等の作成が必要とされます。
- ・食事の時間が和やかにすごせるよう、陶器の食器の使用や、テーブルに花を生けるなど雰囲気作りがされています。年間の食育計画の作成、給食会議の記録をとることで、次年度への工夫へとつながると思います。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	b
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	① 保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	b

[自由記述欄]

・子どもの育ちをこまめに保護者に伝え、信頼関係を築くよう努力されています。今後は、保護者との情報交換の内容を記録する基準を設けたり、相談内容を記録する様式などを整えとなお良いでしょう。

・虐待防止に対応するためのマニュアルを作成したりすることで、職員間で共通認識が持てるようになり、相談内容を継続的に支援していく体制が整うとより良いでしょう。

・保育実践の振り返りに関して各自、自己評価を行っていますが、お互いの学び合いや専門性の向上に向けた話し合いの機会を設けることで、より保育の質の向上・改善につながります。